

平成17年度 決算報告書

国立大学法人大阪教育大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	6,781	6,781	0	
施設整備費補助金	—	49	49	(注1)
補助金等収入	—	35	35	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	33	33	0	
自己収入	3,314	3,334	20	
授業料、入学料及び検定料収入	3,252	3,257	5	(注3)
雑収入	62	77	15	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	159	188	29	(注5)
承継剰余金	—	65	65	(注6)
計	10,287	10,485	198	
支出				
業務費	8,698	8,490	△ 208	(注7)
教育研究経費	8,698	8,490	△ 208	
一般管理費	1,152	1,077	△ 75	
施設整備費	33	82	49	(注8)
補助金等	—	33	33	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	159	209	50	(注10)
承継剰余金	—	65	65	(注11)
計	10,042	9,956	△ 86	
収入-支出	245	529	284	

○予算と決算の差異について

(注1) 施設整備費補助金については、主としてアスベスト対策事業が補正予算として措置されたため、予算額に比して決算額が49百万円多額となっております。

(注2) 補助金等収入については、申請中の事業が交付決定されたため、予算額に比して決算額が35百万円多額となっております。

(注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料未納のための除籍者の減少等により、予算額に比して決算金額が5百万円多額となっております。

(注4) 雑収入については、主として財産貸付料の増加等により、予算金額に比して決算金額が15百万円多額となっております。

(注5) 予算段階では予定していなかった国の各組織、特殊法人及び民間からの受託研究及び寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して29百万円決算金額が多額となっております。

(注6) 予算段階では予定していなかった損害賠償費用が発生したため、予算金額に比して65百万円決算金額が多額となっております。

(注7) 業務費については、教育研究経費、一般管理費において経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が283百万円少額となっております。

(注8) (注1)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が49百万円多額となっております。

(注9) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が33百万円多額となっております。

(注10) (注5)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が50百万円多額となっております。

(注11) (注6)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が65百万円多額となっております。